

WELCOMEIEKI

多くの人が訪れ・働き・学び・住みたい街へ

名古屋駅地区 街づくりガイドライン 2021

名古屋駅地区街づくりガイドライン2014改訂版



名古屋駅地区街づくり協議会

はじめに

ガイドラインの位置づけ

◎本ガイドラインは、名古屋駅地区の将来像と、将来像を実現するための「戦略と施策の方向性」をまとめたものであり、名古屋駅地区のエリアマネジメントを一体的・効果的に進めるための指針となるものです。

◎実現のための「戦略と施策」は、社会情勢の変化に応じて柔軟に見直しを行うことを想定しています。さらに、街づくりの進行に応じて重要性・必要性が求められる項目については、詳細化・追記などを行います。

◎将来の見直しや詳細化・追記も含めてガイドラインとして位置づけ、時代の要請に応じて発展・成長する柔軟な指針となることを目指します。

目次	改訂の骨子	02
	名古屋駅地区街づくり協議会の役割と主な活動	03
1	名古屋駅地区的現状と課題	05
2	街の将来像2030	06
3	戦略ごとの取り組み施策	
	戦略I 空間形成戦略	07
	戦略II 安全性向上戦略	13
	戦略III 環境負荷低減戦略	15
	戦略IV コミュニティー形成戦略	17
	戦略V バリューアップ戦略	19
	今後の展開	21
	名古屋駅地区まちづくり協議会概要	
	沿革	22

●街づくり協議会の設立趣意 | 2008年3月

名古屋駅地区は、明治19年（1886年）の旧国鉄駅舎の開業に始まり、新幹線・JR・私鉄・地下鉄などのターミナルや、都市高速道路・中部国際空港への良好なアクセスを有することで、国内の都市では比類ない結節点の機能を担って参りました。一方、エリアにおける都市機能の多様化は積極的に図られず、歩行者空間・車両交通流・景観・安全・環境面等、順次解決すべき様々な課題を抱えております。また、社会・経済面では、都市間競争の激化、少子高齢化に伴う労働力人口の減少、企業の統合や淘汰、ビルの環境負荷低減ニーズ等、多種多様な情勢に対峙しております。街が将来に亘って持続的に発展するためには、私たち地権者が協力してこれらの課題や情勢に対処することが必要です。

私たちは、計画的な街づくりの重要性を共通認識とした上で、国際交流や中部圏における地域間連携を視野に入れつな名古屋駅地区を多くの方が訪れる・働き・学び・住みたい街にするために、魅力向上を共に考え、提言し、活動します。

●街づくり宣言 | 2010年4月

日本の真ん中に位置する中部圏は、自然に恵まれ、特徴ある歴史、文化、経済に支えられた日本三大都市圏の一つです。
とりわけ、地元では「名駅」の愛称でよばれている名古屋駅地区は、そのゲートウェイとして、世界や国内の人、物、情報をつなぐ非常に重要な「役割」を担っています。

私たちは、この地の歴史に流れる「進取果敢の精神」を受け継ぎ、魅力あふれる街「名駅」を創り、育て続けます

- ①「名古屋らしさ」を感じ取れる街・名駅を創造します。
 - ②名駅に住み・働き・学び・商うさまざまな人と「手を携えて」実現します。
 - ③名駅は、国際都市名古屋を牽引する「役割」を担い続けます。
 - ④名駅だけでなく、周辺地域や中部圏を含めた「地域の価値向上」を目指します。

■改訂の骨子

名古屋駅地区街づくりガイドライン2014

戦略Ⅰ 空間形成戦略 | 戦略Ⅱ 安全性向上戦略 | 戦略Ⅲ 環境負荷低減戦略 | 戦略Ⅳ コミュニティー形成戦略

街の将来像2025

名古屋駅地区街づくりガイドライン2021

街の器・基盤を生み出すベースとなる戦略はそのままに、街の付加価値を生み出し、魅力向上につながる活動を「バリューアップ戦略」としてまとめ、5つの戦略と具体的な取り組み施策によって「街の将来像2030」実現に向け活動を行っていきます。

ガイドライン2014

- 戦略I 空間形成戦略
- 戦略II 安全性向上戦略
- 戦略III 環境負荷低減戦略
- 戦略IV コミュニティー形成戦略

街の**価値向上**に寄与する
これからの「チャレンジ」

戦略V バリューアップ戦略

街の将来像2030の実現

●SDGsへの取り組み

国連が2015年に採択した国際目標SDGs(持続可能な開発目標)は、政府だけでなく自治体や民間などでも取り組みが進められています。「まちづくりの活動」は、このSDGsとも関わりの深いものであり、SDGsのどの分野に関連しているかを、分かりやすくガイドラインに示します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■名古屋駅地区街づくり協議会の役割と主な活動

名古屋駅地区街づくり協議会は「名古屋駅地区を多くの人が訪れ、働き、学び、住みたい街」にするため、活動を行っています。

これまでの活動から、多くの皆様に活動へのご賛同・ご協力をいただくと共に、中部圏を代表するエリアマネジメント団体として認知され、信頼を得ることができました。エリアマネジメントという活動が全国的にも浸透しつつある中で、エリアマネジメント団体に求められる役割も変化しています。

名古屋駅地区の将来を見据え、街の声を聞き、街づくり協議会ができる考え、実践していきます。



街づくり協議会の役割

「まちの声」を届ける

エリアの課題解決や価値を高めるための協議を行い、行政などに「まちの声」として届けます。



「人」と「場」をつなぐ

このエリアで活動を行いたい人たちと、行政や地権者との間に入り、エリアの価値を高める活動をサポートします。



「自分たちの手」でつくる

主体となってエリアの賑わいづくりや環境美化など、エリアの価値を高める活動を行なっています。



街づくり協議会の主な活動

未来をみずえる

- 街づくりガイドライン作成
- 街づくりおよび規制緩和への提言 など

災害から守る

- エリア防災計画の周知・訓練・検証
- 浸水センサーの設置 など

コミュニティを育む

- 清掃活動、おもてなし花だん、打ち水大作戦、街歩き、防犯活動、各種セミナー等企画・実施 など

にぎわいを創る

- メイエキの涼
- メイエキイルミ
- 公共空間の利活用検討

街づくりの仕組みを作る

- 国家戦略特区に基づく道路占用事業(広告事業)

1 名古屋駅地区の現状と課題

●中部圏や名古屋の特性

◎中部圏は、世界的なものづくり産業が数多く立地する日本の製造業の拠点。(愛知県の製造業就業者数国内1位、2018年度名古屋港総取扱貨物量・貿易額国内1位)

◎大都市でありながらゆとりある空間、大都市ならではの高い利便性、豊富な歴史資源や広域集客力のある観光資源、緑・水辺空間を有する。

●名古屋駅地区の魅力・特徴

◎東海道新幹線、JR線、あおなみ線、名鉄線、近鉄線、地下鉄東山線・桜通線や、路線バス、高速バス、観光バスといった広域交通・地域内交通が集積している。

◎これにより、中部国際空港まで約30分の利便性、中部圏の豊富な観光地・製造業の拠点、周辺都市への高い利便性を有す。

◎2027年にはリニア中央新幹線が開通予定であり、日本屈指の多様性と集積度を誇る“スーパーターミナル拠点※1”となると共に、駅前広場や地下空間の整備により、人々が集い、憩い、交流できる場が広がる。

◎広域集客力のある大規模商業施設やオフィス、ホテル、文化・交流施設等の多様な都市機能が集積している。

◎日本有数の地下街を有し、地上やデッキ通路など重層的な歩行者ネットワークを形成している。

●名古屋駅地区に期待される役割

◎中部圏や名古屋の玄関口としての役割。

◎様々な都市機能が集約された国際的・広域的な拠点としての役割。

◎賑わいを、駅からまちへ、まちからまちへ繋げる連携拠点としての役割。

●時代に要請されるテーマ

◎「名古屋らしさ」のアピールや地区のブランドアップ等による都市間競争力の強化。

◎リニア中央新幹線の開通に向けた名古屋駅地区の魅力の向上。

◎災害に対する安全性の向上。

◎都心部における環境負荷低減への取り組み。

◎街の持続的発展を目指したエリアマネジメントの取り組み。

●名古屋駅地区の課題

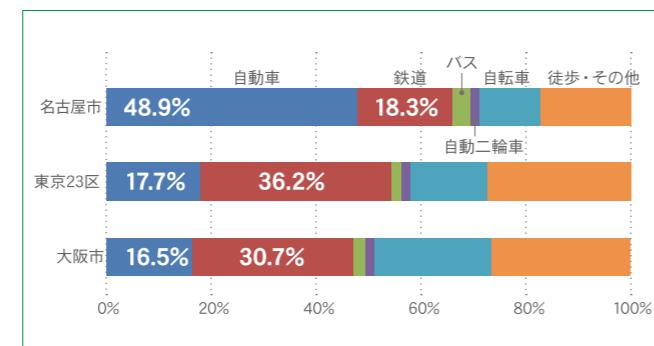
◎中部圏や名古屋の魅力・文化等の情報発信力。

◎都市空間の快適性や、歩行者の安全性・回遊性。(自動車の通過交通や路上駐輪が多い、まとまった緑や広場が少ない)

◎自然災害(特に水害、地震)への対策。(大規模地震発生時の帰宅困難来訪者は約4.2万人と想定されている)

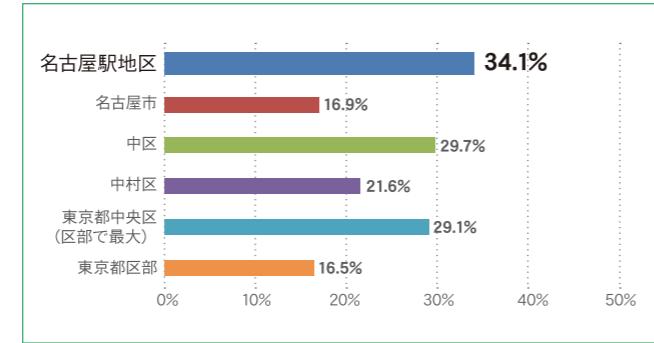
交通機関分担率の状況

東京23区、大阪市に比べ、自動車の分担率が高い。
(平成27年度全国都市交通特性調査より)



名古屋駅地区の道路率の状況※2

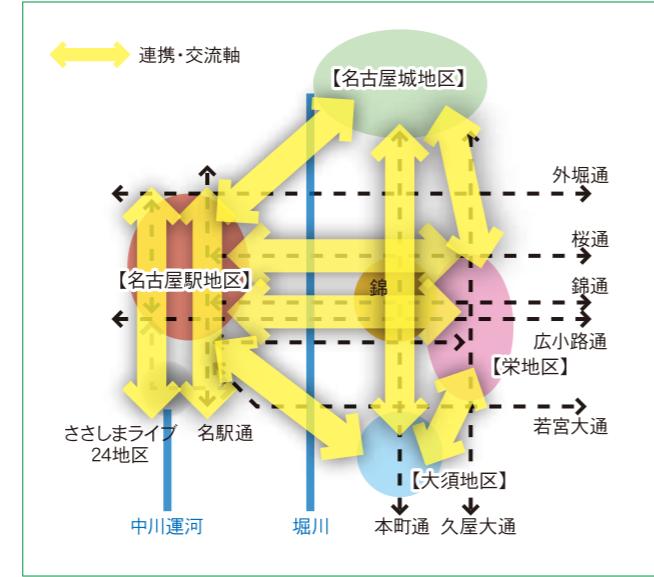
名古屋駅地区の土地利用の3割以上を道路が占めており、他地区に比べ道路空間の占める割合が大きい。



※1: 広域高速交通や地域内交通など複数の交通機関と多様な交通手段が高度に集積し、利用者にとって高い利便性を備えたターミナル拠点。(造語)

※2: 名古屋市内については、「令和2年度 名古屋市道路統計」より。
東京都内については、「令和2年度 東京都道路現況調査」より。

名古屋都心部の将来都市構造イメージ



2 街の将来像2030

リニア中央新幹線開通が予定される2027年を迎えるにあたり、街づくり宣言にある「名古屋らしさ」を感じ取れる街・名駅を創造する。

①世界に開けた中部圏のゲートウェイとして魅力と多様性にあふれる街

- ◎中部の都市活動の玄関口として、世界に対して人・モノ・情報を発信する街
- ◎ものづくり産業を中心とする多様なビジネスと、広域集客力を備えた魅力的な商業を中心とする街
- ◎高度な交通結節点として、誰もがスムーズに移動できる街
- ◎交流活動が活発で、多くの人々を受け入れるオープンな街



②いつでも安全・安心に過ごせる街

- ◎モラル・マナー向上への意識が高い街
- ◎防災・減災にとどまらず、復旧・復興を見据えた準備ができている街



③ターミナル駅を中心に賑わい・憩いが広がる街

- ◎名古屋駅を利用する人が楽しめるよう、ターミナル駅からターミナルシティへと進化する街
- ◎駅前広場から、地上にも地下にも賑わいが広がる、回遊性の高い街
- ◎オープンスペースや公共空間の居心地がよく、歩きたくなる街
- ◎歴史や文化、芸術に気軽に接することができる街



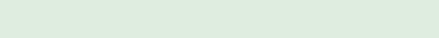
④未来を見据え、先駆的な取り組みを続ける街

- ◎最先端技術を備え、エリアの価値を向上させ続ける街
- ◎都市をフィールドに、様々なイノベーションを起こすチャレンジができる街
- ◎低炭素街づくりを推進する、環境にやさしく快適な街



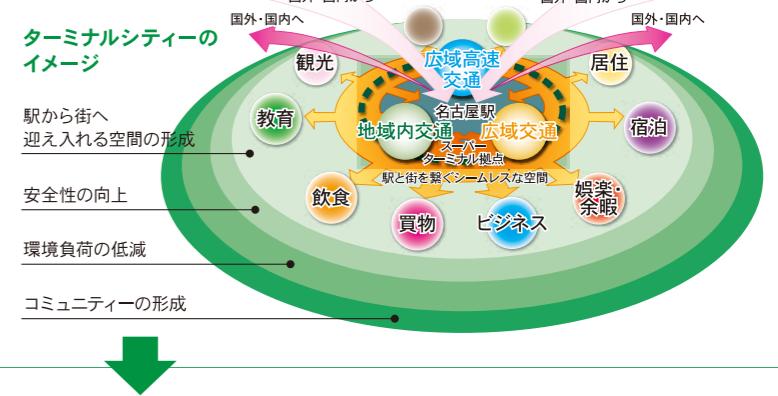
⑤みんなが協力して一緒に育っていく、持続可能な街

- ◎市民、企業、商業者、学生等により地区内コミュニティが形成された街
- ◎官民が連携し、適正な役割分担により育まれる街



【目指す街】=ターミナルシティ

名古屋駅地区は、日本屈指の多様性と集積度を誇るスーパーターミナル拠点を中心とした駅から街へ人々を迎え入れる空間の形成、安全性の向上、環境負荷の低減、コミュニティの形成に取り組み、より一層の魅力と活力を創出する「ターミナルシティ」となることを目指す。



将来像を実現するための5つの戦略

戦略I 空間形成戦略

戦略II 安全性向上戦略

戦略III 環境負荷低減戦略

戦略IV コミュニティ形成戦略

戦略V バリューアップ戦略

3 戦略ごとの取り組み施策

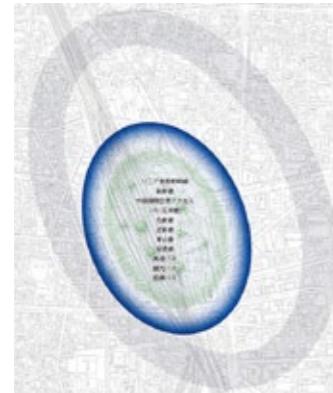
戦略I 空間形成戦略



【方針】

名古屋駅は、2027年に予定されるリニア中央新幹線の開通により、日本屈指の多様性と集積度を誇る“スーパーターミナル拠点”となる。名古屋駅地区は、

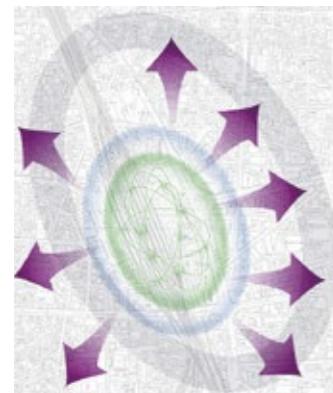
- 【方針1】駅と街との連続性を強化し、公共交通機関の利用を高める
 - 【方針2】自動車交通の適切なコントロールを図りながら歩きやすい空間を創出することで街中の回遊性を高める
 - 【方針3】名古屋らしい賑わいの風景を面的に広げ、街の魅力を積極的に発信する
- 以上の街づくりを通して、来訪・就業・就学・居住する人々を惹きつけ、積極的に駅から街へ迎え入れる空間を形成する。



【方針1】



施策1
駅と街をシームレスにつなぐ空間を創出

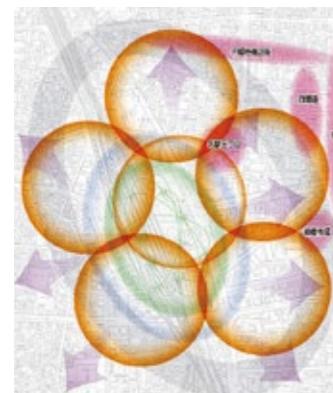


【方針2】



施策2
歩行者の回遊性を高める
歩行者ネットワークを形成する

施策3
歩行者と自転車・自動車の交錯を減らす



【方針3】



施策4
今後の街づくりに望まれる
都市機能を強化する

施策5
名古屋らしい都市景観を形成する

施策1：駅と街をシームレスにつなぐ空間を創出する

- 駅と街をつなぐ、分かり易く見通しの良い通路空間や広場空間の形成に努める。

シームレスな空間のイメージ

(名古屋駅駅前広場の再整備「顔づくり」について2020年3月市公表)



大名古屋ビルヂング

東山線北改札からのスムーズなアクセス動線



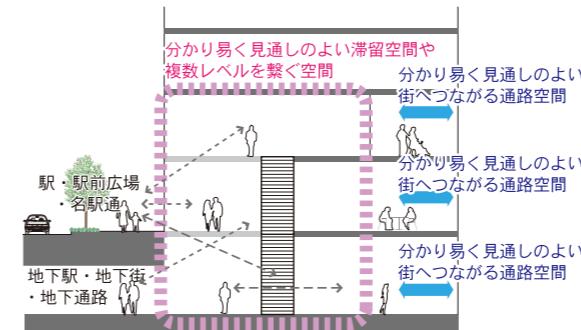
JRゲートタワー

駅からつながる貫通路



- 複数レベル(地上、地下、デッキ等)の行き来を容易にする縦動線空間の形成に努める。

縦動線空間のイメージ



JRゲートタワー

駅前広場に隣接する地上・地下・デッキをつなぐ空間



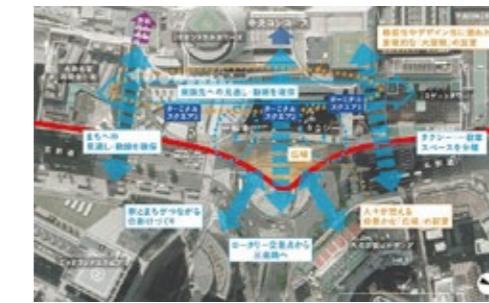
- リニア開通に向けて名古屋市が進める「名古屋駅周辺まちづくり構想」「名古屋駅周辺交通基盤整備方針」「名古屋駅駅前広場の再整備プラン(中間とりまとめ)」に沿って行政と連携して検討する。駅と街をつなぐ空間となる名駅通は、関係者との積極的な協議のもと想定される課題へ着実に対応しながら、適切な道路空間再配分を、行政と連携して検討する。

名古屋市／名古屋駅周辺まちづくり構想



(資料:名古屋市HP)

名古屋市／名古屋駅駅前広場の再整備プラン(中間とりまとめ)



(資料:名古屋市HP)



戦略I 空間形成戦略

施策2：歩行者の回遊性を高める歩行者ネットワークを形成する

- 街中へ人々を誘う「賑わい誘導軸」、賑わいを面的に拡げる「街中回遊軸」を位置づけ、沿道地権者とともに、通りごとの性格づけと将来像を検討する。

- 歩行者ネットワークに面する施設の低層部において、賑わいの面的な拡がりに配慮した歩いて楽しい歩行者空間の形成に努める。

シンフォニー豊田ビル

泥江町通りから西柳公園へつながる歩行者空間



JPタワーから名駅ダイヤメイテツビル

駅からつながる貫通路と端部の広場



- 東西・南北の地下ネットワークの骨格に接する沿道建物は、2016年に改定された「名古屋市地下街基本方針」による接続方法を活用するなど、積極的に地下空間への接続を検討するとともに、周辺街区へのアクセス性を高める空間の形成に努める。

名古屋三井ビルディング北館 地下街との沿道建物の接続

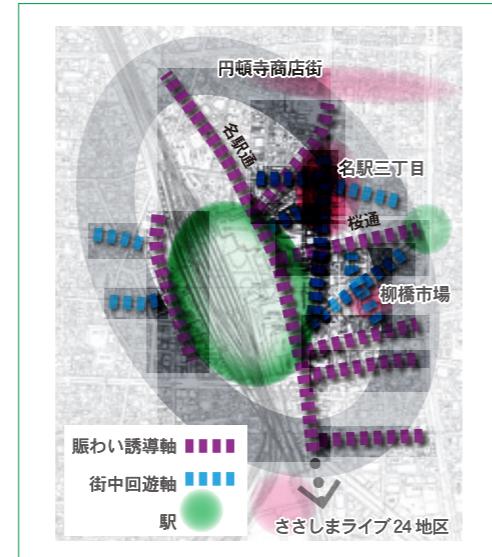


- 周辺施設との段差の解消に努めるとともに、移動を支援する設備を設置し、誰もが移動しやすい動線の整備に努める。

- 施設の案内サインは、「名駅地区サイン設置ガイドブック2015」を参考とし、周辺との調和を図りつつ、分かり易く質の高いサインの設置に努める。

サインデザインのルール作りについて検討する。
道路空間や公共交通の案内サインについて、行政と連携して検討する。

地上ネットワークの形成イメージ



『名駅通』

- 駅と街、施設と施設を繋ぐ快適で高質な通り
- 名駅通と沿道が連携し、活動・交流が生まれる通り

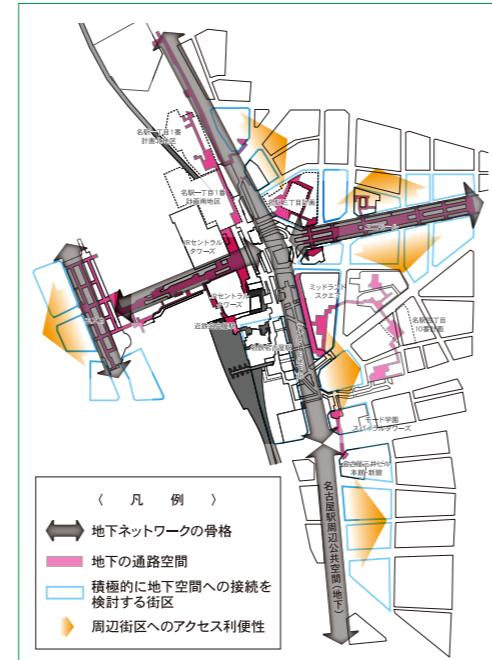
『桜通』

- 安全で快適な歩行者空間のある通り
- 緑豊かで、歩く楽しさがある通り



(仮称)名古屋ビル東館

地下ネットワークの形成イメージ



施策3：歩行者と自転車・自動車の交錯を減らす

【自転車利用、駐輪場について】

- 歩道上駐輪施設の縮小・適正配置、不法駐輪抑制を目指し、建て替え時において、附置義務駐輪台数 $\ast + \alpha$ の駐輪場整備と利用誘導や、シェアサイクル導入などに努め、仕組みづくりを行政と連携して検討する。

※附置義務駐輪台数:「名古屋市自転車等の放置に関する条例」により、施設、面積に応じて整備が必要となる駐輪場の台数

シェアサイクル

カリテコバイク(名鉄協商)



- 自転車と歩行者の通行空間の分離について行政と連携して検討する。

桜通における自転車の分離に向けた検討の一例



他エリアの取り組み事例

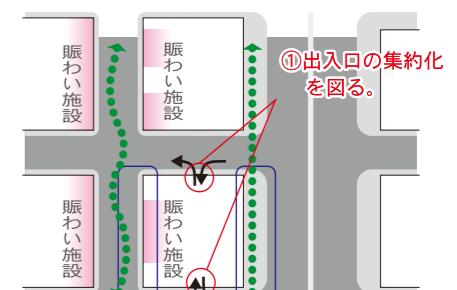


戦略I 空間形成戦略

【自転車利用、駐輪場について】

- 歩行者の歩きやすさに配慮した駐車場計画に努める。

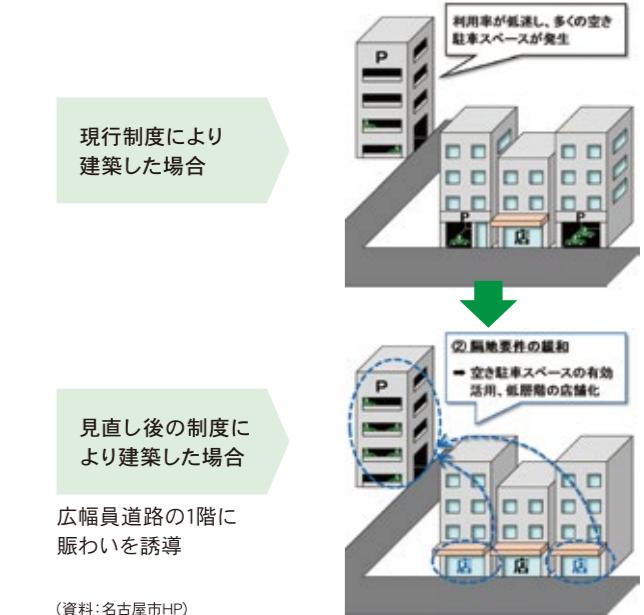
歩きやすさに配慮した駐車場計画のイメージ



- 荷捌き車両の適切なコントロール、公共交通利用促進や通過交通抑制、カーシェアによる自動車総量適正化への取り組みについて、行政と連携して検討する。

- 附置義務駐車場制度の隔地要件緩和を活用して駐車場出入口の集約化、低層階の賑わい施設設置に努める。

駐車場附置義務制度の見直しについて



(資料:名古屋市HP)

戦略I 空間形成戦略

施策4：今後の街づくりに望まれる都市機能を強化する

- 特に以下の8つの機能について、市の新たな都市機能誘導施策を活用しながら、施設の整備と有効活用に努める。

望まれる都市機能	導入施設の例
◎次世代産業ショーケース機能 ～名古屋らしさの発信～	まちを訪れた人々に中部圏の誇るものづくり産業をアピールする都市空間の実装（スマートモビリティの走行空間、充電設備、水素ステーションなど） 
◎知的人材・企業育成機能 ～新たな活力の育成～	シェアオフィス、サービスオフィス、大学等教育施設、産学官連携施設、コワーキングスペース、スタートアップ施設など 
◎ビジネス交流機能 ～人・モノ・情報の繋がりの創出～	国際的な会議や展示会・展覧会が可能な施設、宴会場、国際交流サロンなど 
◎就業者支援機能 ～就業環境の向上～	外国語対応可能な子育て支援施設や医療施設、健康増進施設、憩いの空間など 
◎活動・交流・発信機能 ～新たな発見や楽しみの提供～	公共的空間、屋内アトリウム、企業ギャラリー・ショールーム、美術館、博物館、技術体験館、コンサート会場、都市のプレゼンテーションルームなど 
◎滞在・居住機能 ～訪問・滞在しやすさの強化～	外国語対応可能なサービスアパートメントやハイクラスホテル、利便性を享受する都市型集合住宅など 
◎情報案内機能 ～情報アクセス性の向上～	街の情報を提供する“街のコンシェルジュ”的育成、インフォメーションセンターなど 
◎防災・減災機能 ～安全性の向上～	都市再生安全確保施設（防災倉庫、情報伝達施設、非常用発電設備）、退避施設、一時避難場所など (資料:国土交通省HP) 

- 望ましい公共的空間のあり方(公共的空間に面する施設、道路・歩道との連携、周辺街区との連携、設備機器など)について検討する。
- 都市機能の導入促進策や、施設整備における官民の役割分担について、行政と連携して検討する。

戦略I 空間形成戦略

施策5：名古屋らしい都市景観を形成する

- 環境都市名古屋、デザイン都市名古屋に相応しい施設計画に努める。

- 駅前広場・名古屋駅前交差点、名駅通、桜通を中心に、通りごとの性格づけと将来像を踏まえ、景観形成の方針を行政と連携して検討する。

名駅通



名古屋駅前交差点



名古屋駅前交差点から桜通方向



- 新たに整備される建築物等において、開発者と街で景観に対する考え方を調整する機会の設置について検討する。

- 道路空間の工作物、舗装、植栽、アートの高質化について、行政と連携して検討する。

【取り組みイメージ】

精算機



周辺の豊かな緑に溶け込む、落ち着いた
彩度・明度の精算機のイメージ



注意喚起案内等



設置箇所の見直しや集約化の検討。広告付歩行者案内板との調整。



分電盤



他の道路工作物に合わせた色合いとし、
デジタルサイネージや広告集約等への
活用イメージ



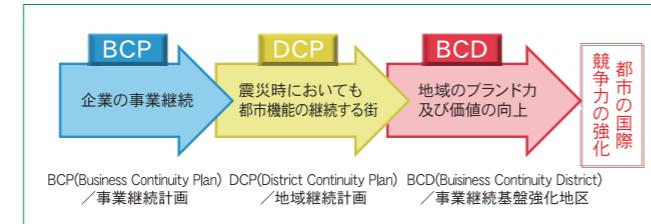
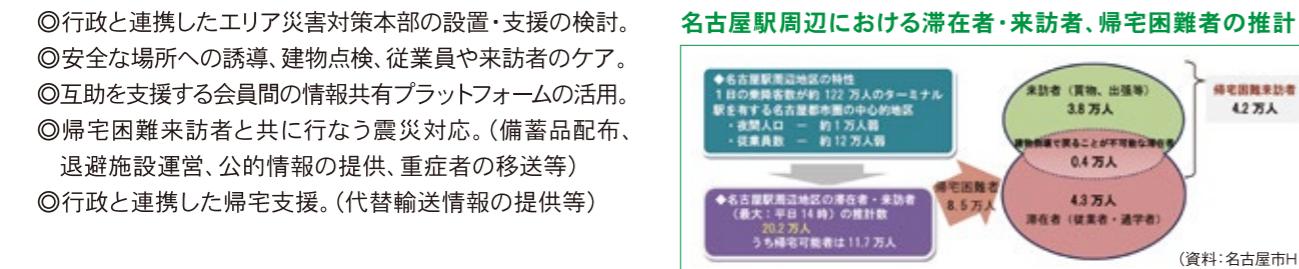
※社会実験の事例

戦略II 安全性向上戦略**【方針】**

内陸直下型地震や南海トラフ巨大地震による震災、集中豪雨や巨大台風による水害に対し、行政と連携して備え、安全面での都市価値の向上を目指す。災害時の防災、減災に留まらず、復旧・復興時を見据え、レジリエントな（しなやかに事業を回復することのできる）エリア防災を平常時から心がけ、災害に対する準備ができていることへの自信を持つとともに、そのことを発信できる状況を目指し、維持する。

施策1：震災に対する地域・事業回復能力を強化する**●行政と連携し被害想定の共有と対応能力の事前強化を図る。**

- ◎耐震性向上、都市再生安全確保施設の整備及び管理、非構造材の落下防止、什器備品の転倒防止、BCP（事業継続計画）の作成。
- ◎エリア防災のシナリオ化。（都市再生安全確保計画等 DCP（地域継続計画）策定への参画）
- ◎エリア防災のシナリオに基づく建物点検、避難誘導、備蓄、退避施設運営の指針を共有。
- ◎ICTの活用も見据えた災害情報受発信の整備、情報共有体制の構築に向けた働きかけ。
- ◎情報入手方法の周知、図上訓練、情報共有訓練、現地防災訓練による対応能力強化。
- ◎災害時の特例措置の整備に向け行政へ働きかけ。（善管注意義務、災害医療、道路利活用、廃棄物処理等）
- ◎災害時の当地区滞在者移動支援のための情報拠点やツール（Wi-Fi、デジタルサイネージ等）の整備。

当地区の目指す将来像**図上訓練・ワークショップ****●被災時の混乱回避、二次災害の抑制、事業回復準備等に対し、迅速で柔軟な対応に努める。****●地域および事業の回復に向けた協力と連携を図る。**

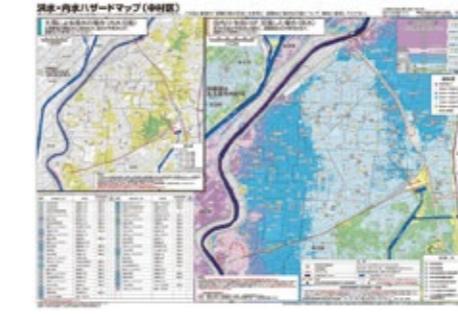
- ◎建物の安全性の確保。（応急危険度判定と判定結果への対応）
- ◎得意分野での地域貢献や資源の融通。（駐車場、宿泊、商業、物流、エネルギー、空地、井戸等）
- ◎エリア復旧活動における情報収集と共有化。 ex.) 災害ゴミの集積と処理、通勤等の代替輸送、道路・橋梁等復旧情報etc.
- ◎交通結節点としての都市機能の回復とビジネス再開を目指す。

●震災発生後の振り返り。

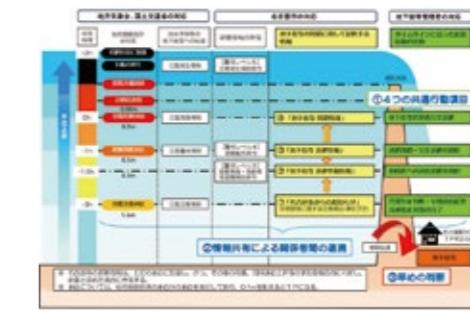
- ◎行政との連携による「できたこと、改善すべきこと」の振り返り。

戦略II 安全性向上戦略**施策2：水害に対する地域・事業回復能力を強化する****●行政と連携し河川氾濫やゲリラ豪雨を想定した対応能力の事前強化を図る。**

- ◎ハザードマップ、タイムラインによる被害想定の見える化とアクショントリガーの共有。
- ◎雨水貯留槽や浸水防止設備の整備と維持管理。
- ◎落葉、雨水樹の清掃。
- ◎避難確保計画、浸水防止計画、BCPの作成。（平成27年度改正水防法）
- ◎情報入手方法等の周知、図上訓練、情報共有訓練、現地防災訓練による対応能力強化。
- ◎エリア防災のシナリオ化。（庄内川タイムライン検討会等DCP（地域継続計画）策定への参画）

洪水・内水ハザードマップ(中村区)

(資料:名古屋市HP)

水害タイムラインの概要**●タイムラインに則り、発災前からタイムリーな対応に努める。**

- ◎行政と連携したエリア災害対策本部の検討、設置。
- ◎帰宅困難者を発生させないための情報の把握と活用。（来訪者や従業員を含む滞在者への展開）
- ◎事前準備の実施。（雨水貯留槽の排水、浸水防止設備の設置）
- ◎浸水検知システム運用による道路冠水等に関する会員間の情報共有。
- ◎大規模地下浸水直前対応。（避難誘導、重要物の移動、避難施設(2F以上)の確保）

浸水検知システム**名古屋駅地区の水害に備えて(水害ガイドブック)****●地域および事業の回復に向けた協力と連携に努める。**

- ◎会員間の連携による排水の実施。
- ◎エリア復旧活動における情報収集と共有化。 ex.) 水害ゴミの集積と処理、道路・橋梁等復旧情報etc.
- ◎得意分野での地域貢献や資源の融通。
- ◎交通結節点としての都市機能の回復とビジネス再開を目指す。

●震災発生後の振り返り。

- ◎行政との連携による「できたこと、改善すべきこと」の振り返り。

戦略III 環境負荷低減戦略



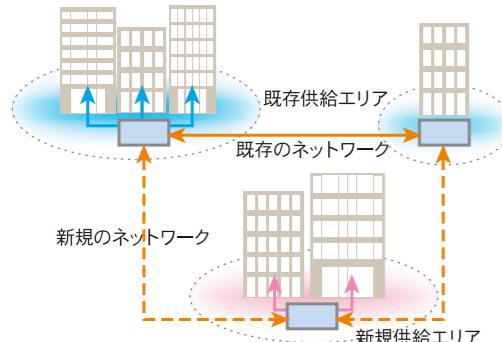
【方針】

広幅員の道路空間、充実したDHC ネットワークなどの都市・環境インフラを活かしつつ、最新の技術を取り入れながら、時代の先端をいく低炭素街づくりの実現を目指す。また、地権者はじめ来街者、オフィスワーカーなどへの環境に対する意識を高めながら、環境貢献への取り組みを持続可能に行っていくための仕組みを構築する。

施策1：既存都市インフラを活用しつつ、環境にやさしく、快適な街づくりを目指す

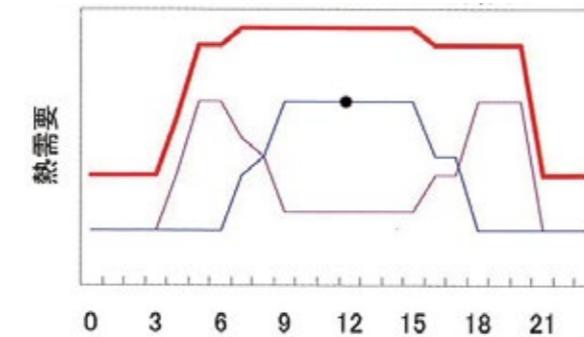
- 最新の低炭素化技術の導入や、積極的な緑化の推進など、環境にやさしい建物の創出(新設・改修)に努める。
- 既存のDHC ネットワークへの接続の検討を促す。

DHC ネットワークの考え方



熱需要の平準化による効率的なエネルギー利用

事務所・ホテル・物販店舗など熱供給パターンの異なる多様な用途の建物のDHC接続により熱需要を平準化した場合の熱需要イメージ。



- 名駅地区の新たなシンボルとなるような豊かな緑陰空間等の創出について、行政と連携して検討する。

都市空間における緑陰形成のイメージ



写真: ブライアント・パーク(ニューヨーク)



写真: 南池袋公園(豊島区)



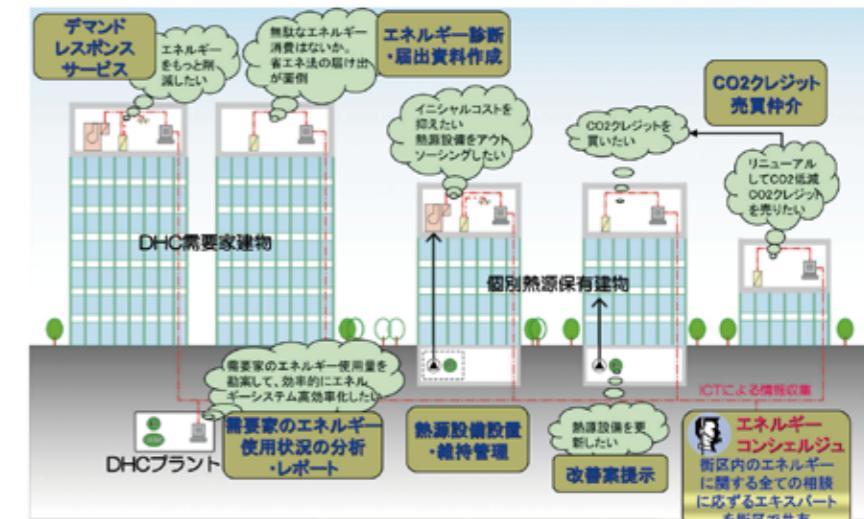
戦略III 環境負荷低減戦略

施策2：エリア全体でコミュニティーの力で持続可能な環境貢献への取り組みを検討する

- 地区内の人々(地権者及び来街者、オフィスワーカー等)の環境への意識高揚を図る。
- 地区全体での効率的な資源循環システムについて検討する。
- 新たなインフラや情報の共有(CEMSやコンシェルジュ型のサービス導入、地区内共同輸配送システム等)の可能性を検討する。

新たなインフラや情報共有の例

エネルギー・コンシェルジュによる省エネサービスの実現を目指します。エネルギー消費の削減に関する各種相談が行え、事業者の方々の経費削減にも貢献します。また、エネルギー・コンシェルジュを介して、街区全体の省CO₂対策が効果的に実現できます。



- 交通の低炭素化と効率化に向けた具体的な実現方策について、行政と連携して検討する。

移動手段の多様化のイメージ

① 新たな路面公共交通システムの導入

- ・都市の魅力を向上させるSRTの導入検討
- ・歩行者の回遊を向上・支援するちょい乗りシステム(ちょい乗りバス、コミュニティサイクル等)の導入に向けた環境整備



※SRT (Smart Roadway Transit)：
技術の先進性による快適な乗り心地やスマートな乗降、洗練されたデザインなどのスマートさを備え、路面を走ることでまちの回遊性や賑わいを生み出す、今までにない新しい移動手段。

(資料:名古屋市HP)

戦略IV コミュニティー形成戦略**【方針】**

名駅地区の人々が、誇りと愛着を持って一緒に関わる街づくり、行政はもちろん、周辺地域や他都市の街づくり団体と連携し、より良い街づくりを推進する。さらに、名駅地区の代表として認識され、周辺地域のモデルとなる取り組みを絶えず実行していく「エリアマネジメント組織」を目指す。

施策1：名駅地区のコミュニティーを形成する**●名駅を居心地よく過ごすための活動を推進する。**

- ◎地区の人々と共にきれいな街を保つための「清掃活動」「違法駐輪対策」の推進。
- ◎花と緑で来街者を迎える「おもてなし花だん」の推進。
- ◎街の持つ「魅力」を伝えるための、街歩きやセミナー等の開催。
- ◎官民連携による地域防災訓練や、地域防犯、防災講演会等の実施。
- ◎地区内の「交通アクセスマップ」や「地下街マップ」の更なる活用の推進。
- ◎来訪者にやさしい屋外案内看板等、サインの在り方の検討。



おもてなし花だんの実施



清掃活動



違法駐輪対策



名古屋駅周辺マップ(地上)(地下)



街歩き



防災訓練



防犯講演会



広告・サイン検討WS

●地区内の「コミュニティー」を育むための情報発信や理解活動を推進する。

- ◎ホームページやSNSによる協議会活動の情報発信。
- ◎「ガイドライン」「会報」「活動報告」等の作成及び配布。
- ◎会員や関係先との活発なコミュニケーションを図る交流会や勉強会の実施。
- ◎エリアマネジメント活動の理解を深める講演会やセミナー等の実施。



会報



勉強会



街づくり講演会



活動報告会

施策2：地区外組織との連携による新たな取り組みを検討し実施する**●エリアマネジメント組織との連携を図る。**

- ◎「全国エリアマネジメントネットワーク」へ幹事会社として参画。
- ◎市内都心部の街づくり団体との情報共有の場等(ex.名古屋市「地域まちづくり」、名古屋市商工会議所「ナゴヤまちづくりプラットフォーム」)を通じ、連携を図る。
- ◎名駅の街づくり4団体との情報共有を図り、課題に対する行政との協議を実施。
- ◎市内のまちづくり団体やNPO等と連携し、賑わい施策等の企画を推進。



全国エリアマネジメントネットワーク



地域まちづくり



まつとナゴヤプロジェクト



メイエキルミ

施策3：官民連携による新たな取り組みを検討し実施する**●街づくりに関する活発なコミュニケーションを図る。**

- ◎名古屋市や中村区との懇談会開催等、街づくりに関する継続的な意見交換の実施。
- ◎駅前広場等、公共的空間の利活用等の都心の課題に対する行政との協議を実施。
- ◎名古屋市のまちづくり構想や方針等に対する提言や提案の実施。



中村区民会議



名古屋市との懇談会



名古屋市への意見書の提出



名古屋駅顔づくり提案発表会

●官民連携によるエリアマネジメント活動を推進する。

- ◎エリアマネジメントに関する法律・制度改正に応じた新たな取り組みの検討。
- ◎国家戦略特区道路占用事業の推進、事業に関わる課題の共有やさらなる収益事業の検討。
- ◎公共的空間を利用した取り組み等の実施に向けた規則緩和やルールの検討。



工事用仮囲い広告



フラッグバナー広告



公共的空間利活用

戦略V バリューアップ戦略



【方針】

2027年のリニア中央新幹線開業に伴い、新たな広場空間や歩行者空間が生まれる中で、エリアの価値を高めるための魅力ある活動を推進し、その情報を積極的に発信する。1つ1つの活動が、「名古屋らしさ」を感じさせる象徴的な空間との相乗効果により「名古屋の顔」として定着することを目指す。

施策1：多様な人・企業がチャレンジできる場・機会を創出する

●「使いたくなる広場、併みたくなる広場」の実現に向け、行政と連携し検討する。

- ◎名古屋を感じさせる象徴的な空間の創出に関する検討。
- ◎日常、非日常に必要な空間の在り方に関する検討。



(資料:名古屋市HP)



●公共空間の積極的な活用に努める。

- ◎エリアの賑わいづくりに寄与するイベント等の実施。
- ◎最先端技術やサービスなどの実証実験の積極誘致、推進。



名古屋駅地区打ち水大作戦



MEIEKI Street Party(大名古屋ビルヂング)



MEIEKI Street Party(ミッドランドスクエア)



Japan Taxi Lounge

施策2：エリアで過ごす人々が充実したワーク・ライフスタイルをおくれる環境を整える

●様々な人が出会う「きっかけづくり」について検討する。

- ◎いろいろな分野(仕事、健康、安全など)で参加したくなる活動の推進。
- ◎「居心地が良く、歩きたくなるまちなか」を実現する歩道空間を含めた活用の推進。



なごのキャンパス



#カミハチキテル(広島市)

施策3：エリアの様々な情報を収集・発信する

●名古屋駅地区の魅力発信戦略に関する検討。

- ◎エリアの魅力ある情報を集約し、発信するスキームづくり。
- ◎「安全・安心に過ごすことのできる名駅」のPR。



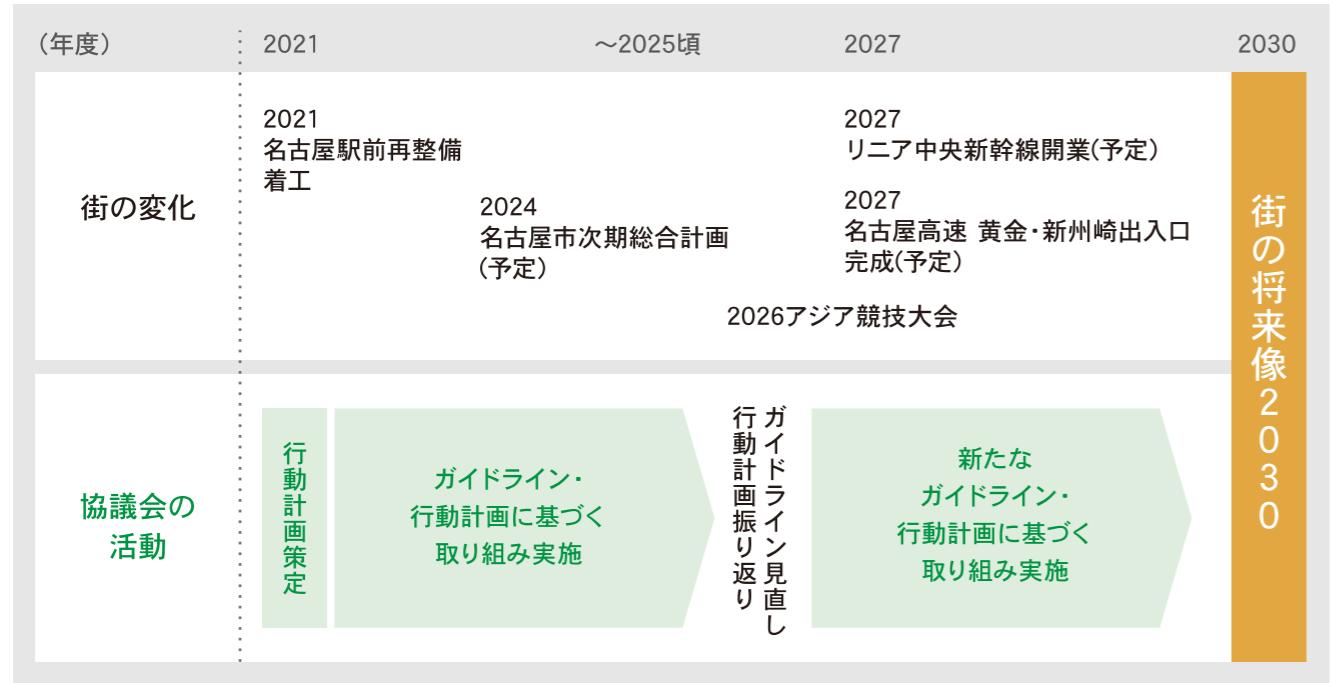
●エリアの案内機能を強化する。

- ◎国家戦略特区道路占用事業(広告事業)の充実。
- ◎案内所機能の強化について、行政と連携し検討。

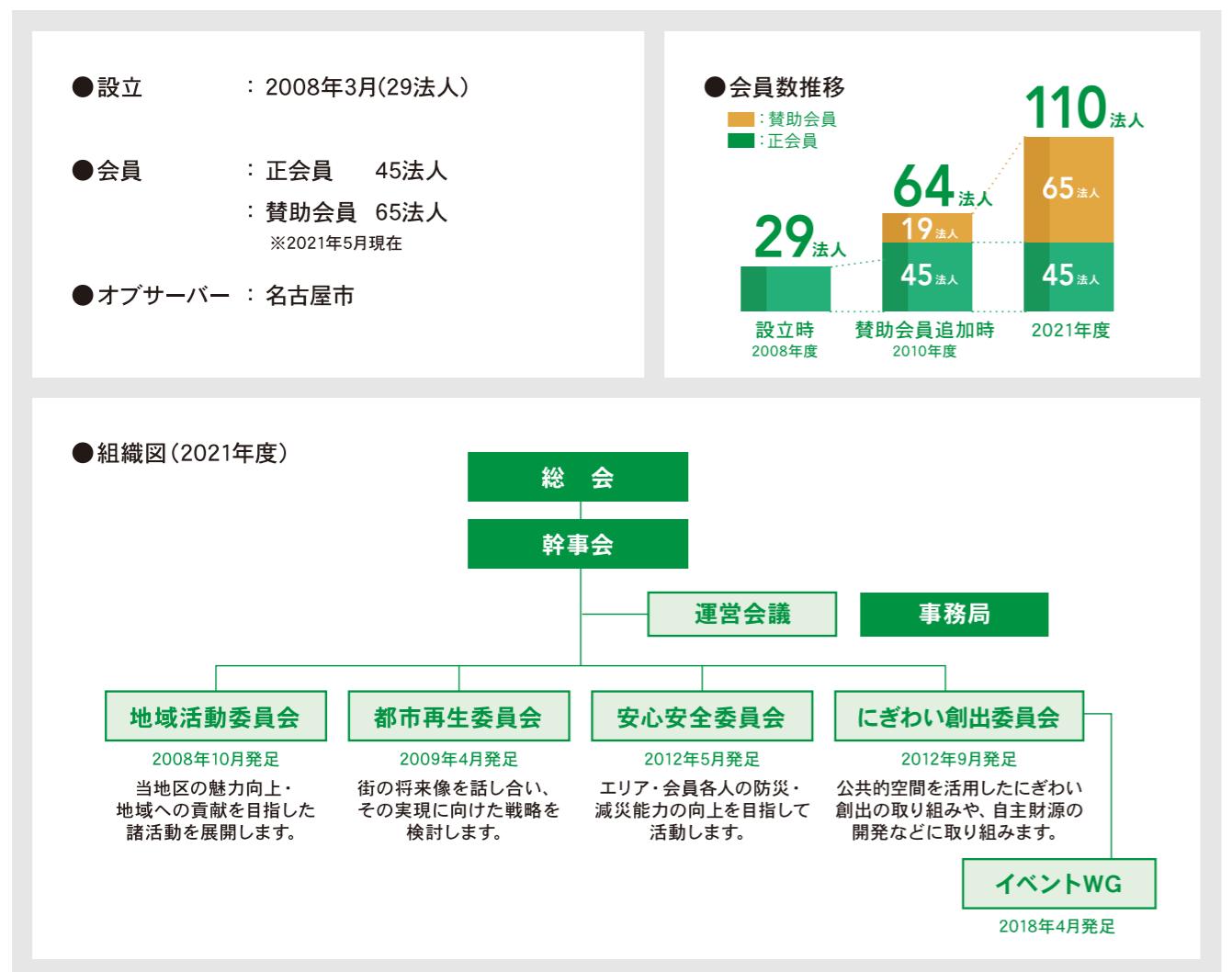


戦略V バリューアップ戦略

■ 今後の展開



■名古屋駅地区まちづくり協議会概要



沿革

9月 設立準備協議 スタート

3月21日 名古屋駅地区街づくり協議会 設立(会員29社)

7月 「街歩き活動(会員企業対象)」をスタート

10月 事業企画委員会 発足

3月 会員企業による、「清掃活動」をスタート

4月 都市再生委員会 発足

5月 名古屋市と、清掃活動パートナーとしての覚書を締結

6月 名古屋市へ、「2010年に向けた名古屋駅地区の整備等に関する提案」を提出

8月 「名古屋駅地区打ち水大作戦」をスタート

10月 運営委員会 発足

10月 名古屋市と、放置自転車対策活動パートナーとしての合意書を締結

4月 「街づくり宣言」、「街の将来像2025」を策定

10月 実行委員会を組成し、「花と緑のおもてなしメイエキ2010」を実施

4月 「名古屋駅地区 街づくりガイドライン2011」を策定

7月 環境省より、「サスティナブル都市再開発促進モデル事業」を受託

10月 名古屋市と、花だん事業パートナーとしての覚書を締結

11月 國土交通省より、「官民連携した道路の活用に関する仕組みづくりの社会実験」を受託

11月 名古屋市へ、「ささしま地下道に関する意見書」を提出

12月 会員企業よりセンターを募り、「おもてなし花だん事業」をスタート

12月 国、市の支援のもと、水害対策を検討するための「名古屋駅地区減災連携会議」をスタート

5月 安心・安全街づくりワーキング 発足

7月 名古屋市と、「名古屋駅地区の防災・減災街づくりに向けた協力・連携」について、協定を締結

9月 道路利活用ワーキング 発足(2014年～公共的空間利活用ワーキング)

9月 國土交通省より、「官民連携した道路の活用に関する仕組みづくりの社会実験」を受託

11月 名古屋市主催の「名古屋駅周辺まちづくり構想懇談会」への参画

1月 名古屋商工会議所・中部経済連合会主催の「名古屋駅周辺地域のスーパーターミナルシティ化を推進する協議会」への参画(～2016年8月)

4月 当協議会の主導で社会実験協議会を組成し、「公共空間の利活用を通じた社会実験」を継続実施(～2016年3月)

5月 名古屋市へ、「街づくりに関する提言」を提出

9月 地下街ワーキングの発足(～2016年8月 名古屋市地下街基本方針改定)

12月 中村警察署の協力のもと、「防犯講演会」をスタート

12月 日本教育財団3校(モード学園、HAL、医專)の学生も参加する「年末クリーンキャンペーン」をスタート

1月 名古屋市長より、防災・減災活動に対し、消防功労者として表彰を受ける

3月 名古屋市主催の「安全確保計画企画運営分科会」への参画

6月 國土交通大臣より、魅力ある街づくりに功績のあった団体「まちづくり功労者」として表彰を受ける

6月 水害対策を検討する「庄内川タイムライン検討会(含む:地下空間WG)」への参画 (※前身:名古屋駅地区減災連携会議)

10月 「名古屋駅地区街づくりガイドライン2014」を策定

11月 名古屋市主催の「エリア防災検討会」への参画

12月 「広告付歩行者案内板 実証実験事業」の公募を実施

3月 名古屋市長より、第2回まちなみデザインセレクションにおいて、社会実験による広告事業が、良好な風景、まちなみへの貢献している活動として「まちなみデザイン貢献賞」を受賞

3月 名古屋市主催の「名古屋駅周辺まちづくり推進懇談会」への参画 ※前身:名古屋駅周辺まちづくり構想懇談会

4月 広告付歩行者案内板を設置し実証実験をスタート

5月 全国エリアマネジメントネットワーク 設立準備委員会への参画

6月 道路冠水状況を感知するセンサーを設置し、冠水状況を情報共有する「浸水センサー実証実験」をスタート

10月 会員がサインを設置する際に配慮する事項をまとめた「名古屋駅地区サインガイドブック・施設名一覧」を策定

6月 名古屋駅周辺まちづくり構想に伴う名古屋市主催の「プロジェクト調整会議(名駅通道路空間調整会議)」への参画

7月 全国エリアマネジメントネットワーク設立 幹事就任

1月 愛知県国家戦略特別区域計画(道路占用事業(エリアマネジメント広告))として、内閣総理大臣より認定

3月 愛知県より、「花の王国あいち」センター企業として認定

4月 国家戦略特区道路占用事業(エリマネ広告事業: フラッグバナー広告、仮囲い広告、広告付歩行者案内板事業)をスタート

6月 名古屋市より「地域まちづくりマネジメント団体」として認定

4月 組織改編を実施(運営会議、地域活動委員会、都市再生委員会、安心・安全委員会、にぎわい創出委員会設置)

8月 名古屋市「名古屋駅周辺まち巡り向上策検討会議(まっとナゴヤプロジェクト)」への参画

10月 名古屋駅地区街づくり協議会10周年記念誌発行、まちづくりシンポジウム2018を開催

3月 名古屋商工会議所「ナゴヤまちづくりプラットフォーム」への参画

6月 名古屋市「名古屋の顔づくりアイデア」募集への提案書提出

8月 「名古屋駅地区の水害に備えて(水害ガイドブック)」の発行

10月 内閣府「ぼうさいこくたい2019」関連事業実行委員会 参画

2月 環境省 第14回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト 特別賞受賞

6月 新型コロナウイルス感染拡大に伴うエッセンシャルワーカーへの感謝を込めてモニュメント「飛翔」ブルーライトアップ

2月 名古屋市「自転車活用推進計画」への意見書提出

名古屋駅地区
街づくりガイドライン
2021

2021年7月発行

<http://www.nagoyaeki.org/>

